

厚生労働省「地域創生人材育成事業」
『EV キットカーを活用した学生・企業技術者向け人材育成講座』

一関工業高等専門学校
「いわて EV アカデミー2018」

開催要項

従来の公的職業訓練では対応できない新たな人材育成プログラムを開発・実施するため、厚生労働省の「地域創生人材育成事業」として平成 30 年度岩手県が採択されました。

この事業をとおして、一関高専は地域に根ざした人材育成を目指しています。

本事業では以下のようなご希望を持っている企業や技術者、学校関係者におすすめします。

- ・ものづくりの基礎を習得したい!
- ・電気自動車等モビリティに関わる技術者を育成したい!
- ・製品の EV 化をするための設計開発が出来る人材を育てたい!
- ・EV 技術を習得したい。 EV が判る人材になりたい。
- ・教育の一環として、時代の先端技術を学び学生達を指導したい。

平成 28 年度まで実施された地域イノベーション戦略支援プログラムでは企業技術者、高等技術専門校自動車整備科の教員の参加の他、学生の聴講生も多く、講座修了書を多くの方々が受け取られました。

前回参加者のアンケートより抜粋

- 電気自動車やハイブリッドカーの歴史を知り、これからの可能性を考えることで、自分が目指す車を作る技術者になることへの一歩になったと思う。
- 電気回路を使ってみたいと思うことは今まであったのですが、知識が無くて、どのように始めればいいのかわからなかったが、今回の体験を機にいろいろ試してみたいと思います。
- チームで作業をして、どんどんチームワークが良くなり、楽しみながらものづくりのおもしろさを実感できた。

いわて EV アカデミーは、地域イノベーション戦略支援プログラムで「教材開発」した電気自動車 Kit を随所に使用しながら、「EV の基礎から応用技術」「ものづくり基礎教育」等を、実践的に時代の先端を担うハイクオリティーな講師陣が丁寧に指導いたします。

講師陣は、地元岩手県におられる N 社においてフェアレディ Z 等の車両デザインに従事してきた自動車デザインのプロ、また、N 社においてローレル等の車両設計を実施していた自動車設計のエキスパート、M 社においてランサーエボリューションの駆動配分技術を確立し、レーシングカーのチューニング歴を持った開発のエキスパート、電気関係やモータのエキスパート、蓄電デバイスでは、学生フォーミュラチームのバッテリー指導を担当しているリチウム電池のプロ、キャパシタは、専門家

が実践的に教材を使いながら指導、電気自動車の血管ともいべきハーネスについては、ハイブリット車のハーネスを実際に設計製作している企業よりプロの技術者をお願いして、最先端の自動車技術教育を判り易くご指導いたします。

※お申込みの注意事項がありますので、必ずこの下記をご確認下さい！！

いわて EV アカデミーは厚生労働省の事業として人材育成を目的に取り組んでいる事から受講費用は無料になります。

いわて EV アカデミー受講条件

- ① 定員が各コース 20 名となっていることから、企業からの受講は申込締め切り後、定員オーバーした場合に 1 企業あたりの受講者人数を調整させていただく場合があります。
- ② 出来るだけ、スクール開催全日程に受講できる方を優先致します。
- ③ お申込み締め切り後に、最終的な受講可否について本校よりご連絡を致します。
- ④ 講義における写真撮影、録音は禁止させていただいております。
- ⑤ 講座終了後、アンケート調査にご協力下さいますようお願い致します。

講座の申し込みは、それぞれの講座に締切日が設定されている事から、その締切日までに添付の申込用紙に記載の上、お申し込み下さいますようお願いいたします。